

SSKS

VOL.127

# 結の実通信127号

特定非営利活動法人結の実

---

ご挨拶

理事長 小林 輝彦

難波理事長の理事任期満了に伴い、2021年度第2回法人理事会において新理事長として選任されました。2004年に結の実職員となってから17年、2016年に理事となって5年となりますが、改めて皆様にご挨拶申し上げます。

前任の難波理事長には、理事長に就任して以来、様々な課題を抱えていた結の実の立て直しに取り組んでいただきました。まだ道半ばではありますが、課題解決への道筋をたてていただいた功績はとて大きいと感じております。心よりのお礼を申し上げます。また、新理事長として難波理事長の方針を継続し、課題解決に向けて取り組んでいく所存です。

幸いにも他の役員の方々は、再任された方が多く、引き続き結の実を支えていただけるものと安堵しています。副理事長を引き受けて下さった市村先生には、豊富な経験があり、虐待防止責任者も引き受けていただいております。これからも結の実のために様々なアドバイスいただけるものと思います。

私が理事長として、結の実で実現していきたいことについてお話ししたいと

思います。一つ目は、法人使命実現のための経営健全化です。結の実は株式会社ではなく NPO 法人です。NPO とはノン・プロフィット・オーガニゼーション(非営利組織)のことですが、これは利益を上げてはいけないということではなく、利益を構成員で分配しないという意味になります。法人の使命実現のためには利益を上げることが必要です。結の実の使命に関しては、次ページに法人目的やグループホーム運営方針が記載されているのでご参照ください。今までも、研修の受講による収入増や職員配置の見直しによる無駄な支出削減など様々な努力をしてきました。今後もこの取り組みを継続していきます。

二つ目は、入居者の生活を守ることです。私は、職員として結の実に関わってから、このことを第1優先にして取り組んできました。残念ながら、様々な事情から結の実を退去された入居者や、受け入れが難しく入居をお断りした方、我々の力量不足から受け入れが困難になった入居者もいらっしゃいます。我々の力の及ぶ範囲ではありますが、今結の実のホームで生活している方、これから生活する方が安心して暮していけるように努力していきたいと考えています。生活を守ることの中には、様々な理由で帰る場所のない入居者が365日安心して暮せる環境を作ることはもちろん、新型コロナウイルス等の感染症対策も含まれます。そして、入居者が笑顔で暮らせるようなささやかな取り組みも大切です。職員が、自分の家族を入居させたいと思えるようなホームを目指します。

三つ目は、法人の持続的な成長です。組織として成長を試みないと、現状維持ではなく衰退していくと考えます。成長により、法人運営が安定し、入居者の生活も守れ、職員も幸福になります。今年度試みているのが、職員評価制度の導入です。職員の努力を評価し、やりがいをもって働けるように環境を整えたいと思います。今後長期計画の作成や新規事業の検討にも取り組んでいく予定です。

## 法人目的

結の実は地域の障害がある人々や子どもたち、高齢者などに対して、必要とする福祉サービス等を提供し、社会的・経済的自立を支援するとともに、社会参加促進に関する事業を行い、障害の種類・程度に関わらず、すべての人々がゆたかに暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的としています。

## グループホーム運営方針

- ① 障がいの程度にかかわらず、入居者が健康で自立した生活が営めるように支援を行なう。
- ② 入居者の個性を理解し、それぞれの入居者が今まで営んできた生活環境を尊重した支援を行なう。
- ③ 入居者の人権を擁護し、就労や社会参加等充実した社会生活が送れるように、関係施設や地域と連携していく。

### 法人沿革

- 1988年9月 課外グループ「生活ホーム結」設立  
1991年4月 通所訓練の場「通所施設・結」開所  
1994年7月 宿泊訓練「生活ホーム・結」開始  
2001年9月 「特定非営利活動法人 結の実」認可  
2004年4月 男性ホーム「ホーム・まな」を開所  
2008年3月 女性ホーム「ホーム・ゆい」を開所

## お別れの話

先日、ある入居者のお母様が亡くなり、ホーム職員も一緒に葬儀に参列してきました。参列といっても、ささやかな家族葬で、ゆっくりお別れの時間をもつことができましたようです。特に今はコロナ禍であり、大人数での参加は控える状況なのも、本人にとってはよかったかもしれません。

今までも、入居者家族の葬儀と一緒に参列させていただいたことは何度かあります。それぞれ受け止め方や、葬儀後の気持ちの浮き沈みなど異なっているのですが、参列することにより、皆さん、お別れを実感できるようです。我々職員も一緒に参列することにより、本人の状態がよく理解できます。

我々グループホーム職員の仕事は、直接支援だけでなく、生活全般にわたる支援や制度上の支援、心のケアなど多岐にわたります。それらは、全て関連していて、葬儀参列時や参列後の様子をよく見ておくことにより、その後の体調



の変化や、気持ちの変化も、予測できるようになります。場合によっては、特に体調悪くなくても、お仕事をお休みして、ゆっくりしていただくような判断をすることもあります。

そのような判断をするためには、細かい様子をきちんと記録に残しておき、次に勤務する職員に引継ぎをしておくことが大切です。非常勤の職員さんは夜勤や早番、遅番など、時間ごとに入れ替わるので、結の実のホームでは、正規職員がそれらの職員をつなぐ役割をしています。

「親亡きあと」に期待してグループホームを探すご家族も多いと思います。家庭もそれぞれで、必ずしもその入居者が育ったのと同じような環境をホームが提供できるわけではありません。しかし、皆さん、それぞれ自分なりにホームに自分の居場所を見つけてたくましく生活しています。先日葬儀に参列した入居者も、「お母さん死んじゃったの」と涙ぐむ姿も見られましたが、少しずつ落ち着いていく様子を見ると、お別れがしっかりできたのだなと感じています。

## 結の実 2021 年度通常総会開催報告

2021 年度結の実通常総会が 6 月 26 日に開催されましたが、昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面上での開催となりました。本来なら、会員の皆様のご意見を直接聞かせて頂きたいところではありますが、昨年同様、通信の場を通じて、皆様からいただいたご意見ご質問を紹介していきたいと考えております。

討議事項①結の実 2020 年度事業報告案、決算報告案に対するご意見

☆ コロナ対策費として、費用もかかった事と思います。職員が働きやすいためには、働くことでの悩みなど相談できる窓口（メンタル対応…できたら専門の方の協力）があると良いと思います。小さな不満が大きな不満になっていきます。利用者さんたちはコロナになってからストレスたまっていますか。職員も同じくですね。

➤ **ご意見ありがとうございます。引き続き職員が働きやすい環境を整えていきたいと考えております。**

☆ コロナ禍の中、一つひとつ誠実な運営を行なっていることが伝わってきます。ごくろう様です。

➤ **ご意見ありがとうございます。引き続き誠実な運営を心がけます**

☆ コロナウイルス禍で大変な状況の中、感染症対策は困難なことだったと思います。その中で職員のキャリアアップ制度の枠組みができたことは良かったと思います。

➤ **ご意見ありがとうございます。キャリアアップ制度の実際の運用は今年度からになります。よりよい制度になるように見直しをしていくつもりです。**

討議事項②結の実 2021 年度事業計画案、収支予算案に対するご意見

☆ 引き続き、感染症対策を進めるとともに、職員の研修もできたら良いと思います。

➤ **ご意見ありがとうございます。職員研修を積極的に行っていきます。**

☆ 職員評価制度が働く意欲につながり、スキルアップになれば良いかと思いますが、自己評価（自分で自分をどうみているか）も大事ではないかと思います。一番大切なことは利用者さんの毎日の生活が安心出来る心地良い穏やかな日々であること。そのためには大変な仕事があっても利用者さんの日々が職員にとってもやり甲斐のある楽しい仕事であることを願っています。保護者の方にとっても、まなとゆいにお願いして良かったと心から思っていたいただけるようなホームでありますよう、ささやかな応援をしたいと思っています。ハード面とソフト面を考えること。お疲れ様です。

➤ **ご意見ありがとうございます。職員評価制度は、上位職種による評価と自己評価の両方を行っています。入居者にもご家族にも職員にも心地よい場所であるようにさらに取り組みを行っていきます。**

☆ 計画は一気にできあがるものでもありません。引き続きじっくりかまえて進んでいってください。コロナ禍の中やるが増えて、たいへんな状況ですが、頑張ってください。

➤ **ご意見ありがとうございます。じっくりかまえて・・・大切なことですね。**

☆ 町田市内のグループホームも増加していますが、運営母体がよくわからないホームも多いです。実績のある結の実で是非新規のホームを開設してください。（できれば重度対応の）

➤ **ご意見ありがとうございます。事業計画内の長期計画の作成、新規事業の検討の部分で考えていきたいと思っています。**

☆ ヒヤリハットは具体的にどんなことが起きたのか記入してほしい。

➤ **ご意見ありがとうございます。ヒヤリハットに関しては、こまめに記入するようにして、職員間で共有をするようにしています。**

☆ 結の実通信の発行回数がもう少し増えるとホームの様子が伝わってくると思います。

➤ **ご意見ありがとうございます。職員体制上現在年2回の発行目標となっていますが、可能な範囲でそれ以上の発行を目指していくつもりです。**

特定非営利活動法人結の実の法人理念や事業運営方針の趣旨にご賛同いただき、ご支援して下さる方々の入会及び寄付をお願い申し上げます。

**年会費 2000円**

郵便振替口座 00110-2-355729

口座名義

特定非営利活動法人結の実

- \* 郵便振替用紙に、お名前・住所・電話番号・〇〇年度会費として、のご記入をお願いします。
- \* 入会時期に関わらず、会員資格は年度ごとの更新となります。

**寄付 6名** （2021年3月26日～2021年7月10日）

明滝光子 桑原靖 葛生禎子 清水千加子 田島孝子 成沢超子

**2021年度 更新会員 62名** （2021年3月26日～2021年7月10日）

安達利恵子 明滝光子 相原純子 浅川寛文 石川薫 石川紀子  
市村たづ子 伊藤富佐子 伊藤友幸 入山公子 岩浅和美 岩浅義昭  
榎本節子 大里規子 大西元 大西常子 葛生禎子 桑原靖 桑原光代  
桑原直也 桑原利幸 小島恵見 坂口聖子 坂田勇征 坂田早苗  
貞富篤信 貞富加代子 貞富護 貞富久美子 貞富結菜 貞富和希  
清水千加子 杉本わか 鈴木美恵子 田島孝子 鳥谷トモ 成沢超子  
難波英勝 難波雅英 難波道子 野本きみ子 東本浩二 東本眞知子  
廣瀬礼子 藤田浩子 藤平則夫 藤巻秀子 前田イネ 増田一郎  
御園由美子 三宅康史 宮嶋寿美江 宮嶋利明 安田靖子 山口久子  
山内劉子 山本隆弘 山本剛 山本由美子 山本康博 吉村光子  
小林輝彦

**2021年度 新規会員 1名** （2021年4月1日～2021年7月10日）

山内美慧

（順不同・敬称略）

☆ご支援まことにありがとうございました☆

## 事務局からのお知らせ

- ☆ 2020年度第3回理事会が2021年3月13日に開催されました。
- ①2020年度4月～12月会計報告案
  - ②就業規則改正案と人事考課管理表案
- ①の議題に関して承認されました。
- ②の議題に関して承認されました。
- ☆2020年度法人監査（会計監査、業務監査）が2021年5月20日に行われました。
- 会計監査に関しては、活動計算書、貸借対照表、財産目録、帳簿等が適正であることが報告されました。
- 業務監査に関しては、業務改善に関する指摘を受けました。
- ☆ 2021年度第1回理事会が2021年5月29日に開催されました。
- ①2020年度決算報告案、事業報告書案
  - ②2021年度収支予算案、事業計画案
  - ③結の実第11期役員体制案
  - ④ホーム・ゆい新規入居希望者の選定について
- ①②③の議題に関して、2021年度総会提出資料として承認されました。
- ④の議題に関して承認されませんでした。
- ☆2021年度通常総会が2021年6月26日に開催されました。
- ①結の実2020年度事業報告案、決算報告案
  - ②結の実2021年度事業計画案、収支予算案
  - ③結の実第11期役員体制案
- ①、②の議題に関して、賛成多数で承認されました。
- ③に関して再任理事 市村たづ子、小島恵見、小林輝彦、廣瀬礼子  
新任理事 大里規子（監事退任） 再任監事 貞富護 となっています。

結の実通信 127号

『編集』特定非営利活動法人結の実 事務局

〒194-0046 東京都町田市西成瀬 1-39-13

TEL/FAX : 042-725-8693

E-mail : [yuinomi@star.ocn.ne.jp](mailto:yuinomi@star.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://yuinomi.com>

『発行』特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷 102号室

TEL : 03-6277-9611 FAX : 03-6277-9555 定価 50円